

TOSHIBA

東芝電気温水器（家庭用） 取扱説明書

ステンレスボット

形
名


節電タイプ：2段切替（屋内・防雨兼用形）

HPL-N371RSG

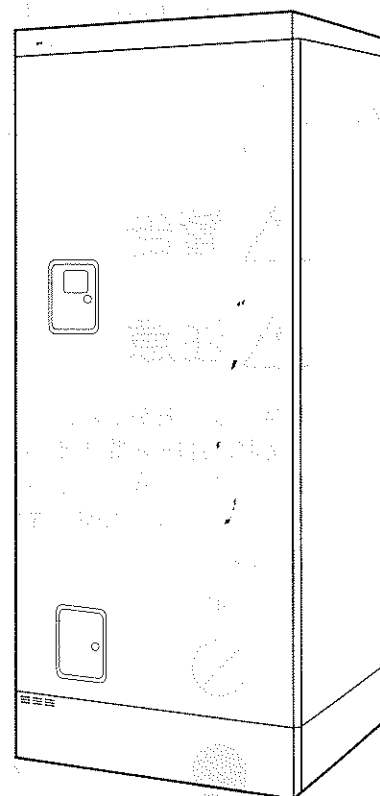
HPL-N371RSG-B

HPL-N461RSG

HPL-N461RSG-B

※-Bは  (BL) 認定品です。

※使用前にお買いあげいただきました温水器の形名を
おたしかめください。



もくじ

安全上のご注意	1
各部のなまえとはたらき	5
使い方	7
点検、お手入れのしかた	9
このようなときには	12
仕様	12
保証とアフターサービス	15



- * このたびは東芝電気温水器をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- * この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになるまえにこの取扱説明書を良くお読みになり、十分に理解してください。
- * お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。
- * 工事説明書を、販売店または工事店から必ず受け取って保存してください。
- * 保証書は必ずお受け取りください。
- * お客様ご自身では据付けしないでください。安全や機能の確保ができません。

●この電気温水器は、深夜電力による特別引き料金の適用を受けられます。
適用に当たっては、最寄りの電力会社に申請してください。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明




表 示	表示の意味
 警告	"取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されること"を示します。
 注意	"取扱いを誤った場合、使用者が傷害(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されること"を示します。

*1: 重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

*3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかる拡大損害をさします。

図記号の説明

図記号	図記号の意味
 禁止	○は禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指示	●は指示する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注意	△は注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

■据付前の注意事項

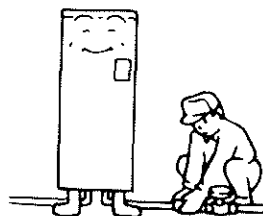
警告

据付・配管・電気工事は、必ずお買いあげの販売店または工事店に依頼すること

ご自分で据付工事をされますと、火災・感電・水漏れの原因になります。



専門業者



絶縁パイプ・アース棒など、別売り部品も東芝品を使用すること

純正以外の部品を使うと、事故・故障の原因になります。



純正部品



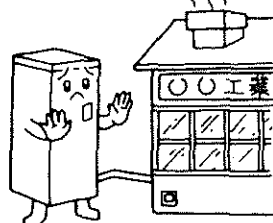
注意

業務用・改造後の使用はしないこと

事故・故障の原因となります。



禁止



水は水道法に規定された水質基準に適合する水を使用すること

適合しないと故障・水漏れの原因になります。



上水道



■据付後の確認事項

⚠ 警告

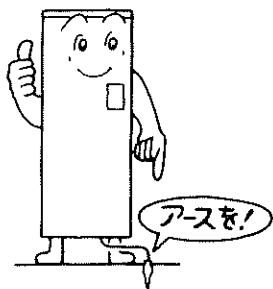
アース工事がされているか確認すること

故障や漏電のときに感電の原因になります。

アースの取り付けは販売店にご相談ください。



アース工事

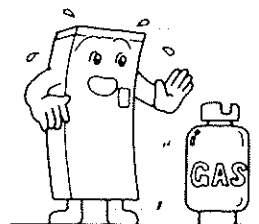


温水器の近くにガス類や引火物が置かれていないことを確認すること

発火の原因になります。



施工確認



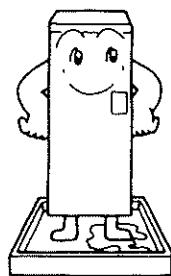
⚠ 注意

床面が防水処理・排水処理されているか確認すること

水漏れが起きた場合、大きな被害の原因になります。



施工確認

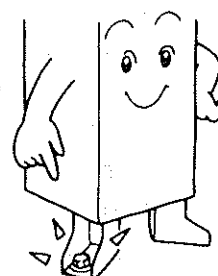


脚がアンカーボルトで固定してあるか確認すること

本体が倒れてけがをすることがあります。



施工確認

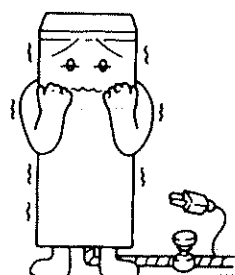


凍結防止対策を確認すること

配管が破損してやけどをすることがあります。



施工確認



温水器が浴室など湿気の多いところに取り付けられていないことを確認すること

火災・感電の原因になります。



施工確認



■使用上の注意事項

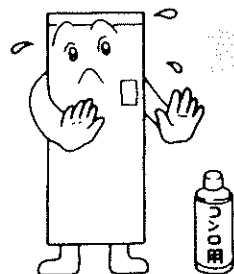
⚠ 警告

温水器の近くにガス類や引火物を置かないこと

発火の原因になります。



禁止

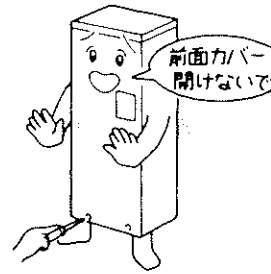


前面カバーは開けないこと

感電の原因になります。



禁止



安全上のご注意 (つづき)

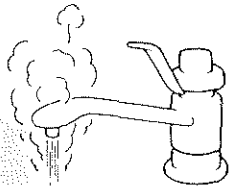
⚠ 警告

給湯・排水時は熱湯が出るおそれがあります。やけどに注意すること

給湯せんを開いた直後は水がでますがすぐに熱湯に変わります。



手をふれない

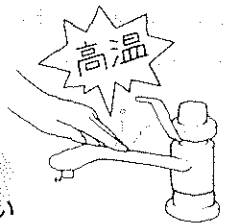


給湯時は給湯せん本体に手を触れないことやけどをすることがあります。

朝、最初に給湯せんを開くとき蒸気が吹き出ることがあります。給湯せんは少しずつ開いて下さい。



手をふれない

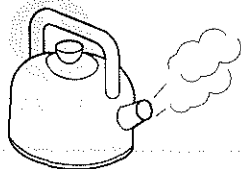


⚠ 注意

そのまま飲用しないこと

長期間のご使用によってタンク内に水あかがたまり、配管材料の劣化等によって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度、ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。

- ・必ず水質基準に適合した水を使用してください。
- ・熱いお湯が出てくるまでの水(配管内にたまっている水)は、雑用水としてお使いください。



沸騰後飲用

固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用には使用せずに、直ちに点検の依頼を行ってください。

電源ボックスカバーは閉じておくこと

ショート・感電の原因になります。ぬれた手でさわらないでください。

点検・操作の後には必ずねじを締めてください。



確実に閉じる

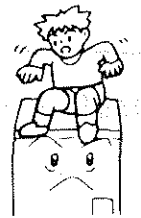


電気温水器の上に乗ったり、配管に力を加えないこと

本体が転倒したり、配管が破損してやけどなどの事故の原因になります。とくに、幼児・子供に注意してください。



禁止



■ 点検・お手入れの注意事項

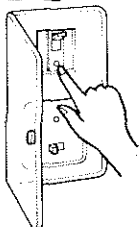
⚠ 警告

漏電遮断器の動作を確認すること

漏電遮断器が故障のまま使用すると、漏電のときに感電の原因になります。



動作点検



逃し弁の点検時には、排水管に手を触れないこと

やけどをすることがあります。



手をふれない



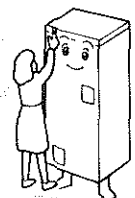
⚠ 注意

逃し弁を点検すること

配管漏れによりやけどをすることがあります。高い所に設置されている場合は、脚立などを使用して安全に行ってください。



動作点検



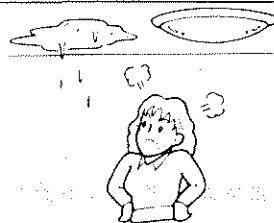
⚠ 注意

水漏れを点検すること

とくに集合住宅では、漏水が階下へ被害を与えます。
日常確認してください。



漏水点検

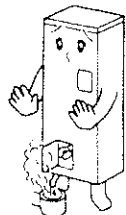


タンクの熱湯排水は直接しないこと

やけどをすることがあります。
水で薄めてから流してください。



熱湯排水禁止

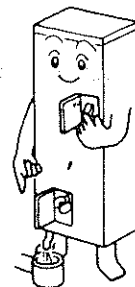


1ヶ月以上使用しないときは漏電遮断器を「切」にしてタンクの排水をすること

水質が変化することがあります。



水抜き



■ 修理・譲渡等の注意

⚠ 警告

修理技術者以外の人には絶対に分解したり修理・改造は行わないこと

発火したり異常動作してけがをすることがあります。



分解禁止



⚠ 注意

このお使いになっている商品を他に売ったり、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書と別冊の工事説明書を商品本体の目立つところにテープ止めしてください



説明書添付



■ 異常時の注意

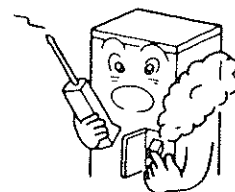
⚠ 警告

異常時(こげ臭い、過圧防止弁からの水漏れ等)は、漏電遮断器のレバーを下げて電源を「切」にして、お買いあげの販売店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口へ連絡すること

異常のまま使用されますと故障や感電、火災の原因になります。



電源を切る



各部のなまえとはたらき

* 電気温水器は深夜の間にお湯を沸かし、タンクに貯めておいて必要なときに利用するものです。

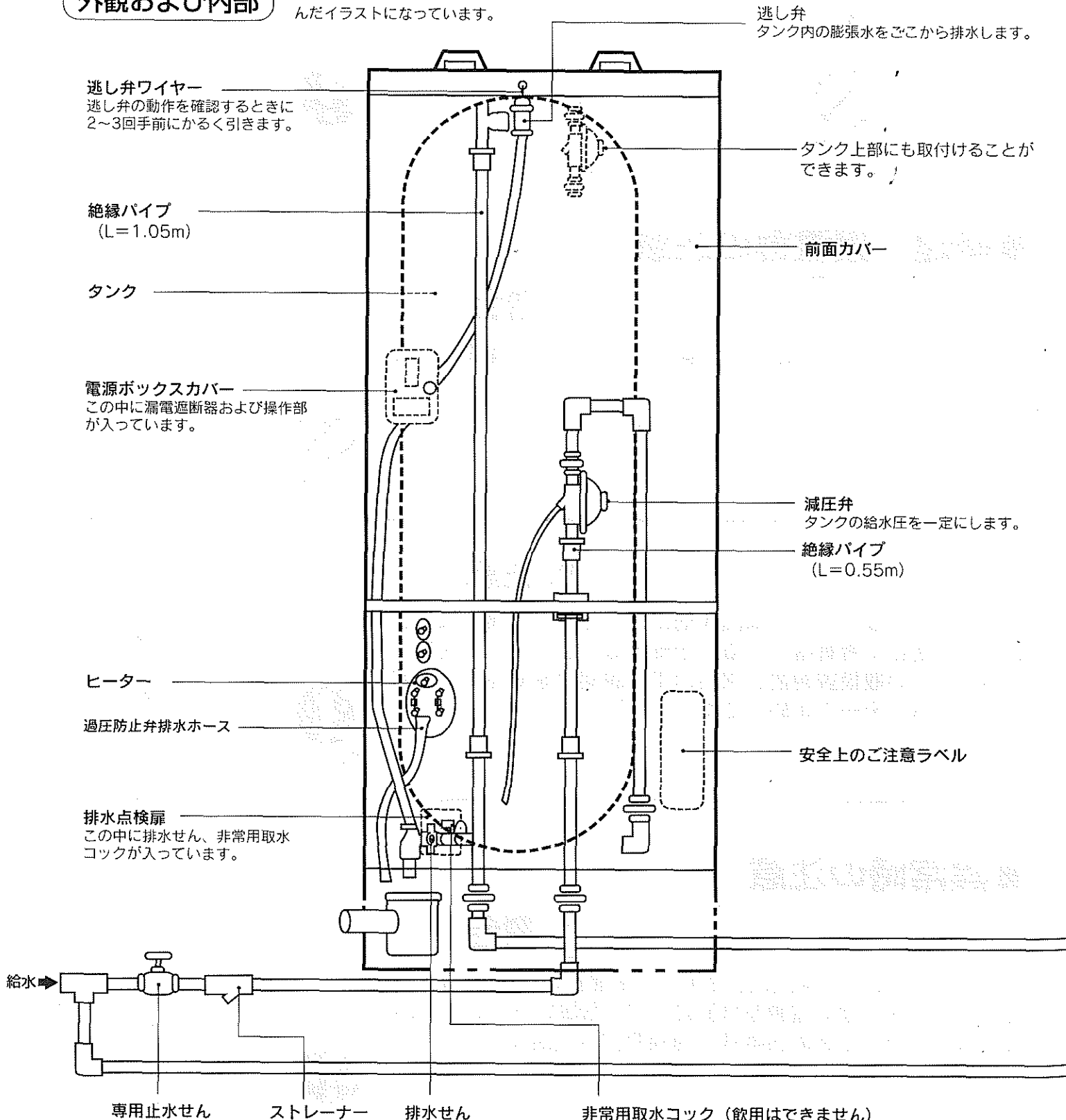
* アースは、万一漏電した場合、電気を大地に逃すため、電気温水器のアース端子と地中に埋設されたアース棒または、家屋に取り付けられたアース端子を

アース線で接続することにより構成されます。

* 電気温水器本体に「安全上のご注意ラベル」が貼り付けてありますので、お読みいただき確認してください。

外観および内部

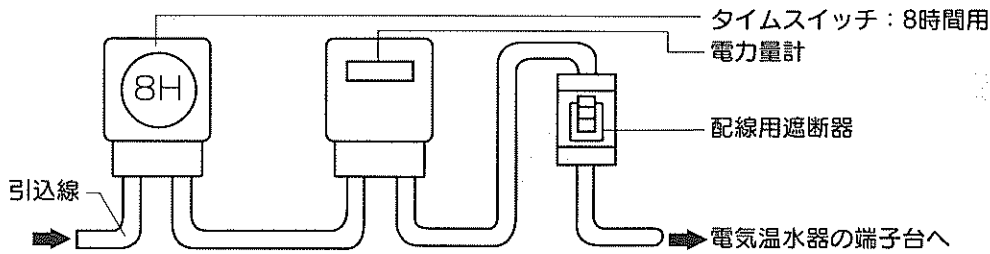
別売部品および現場施工部品を組込んだイラストになっています。



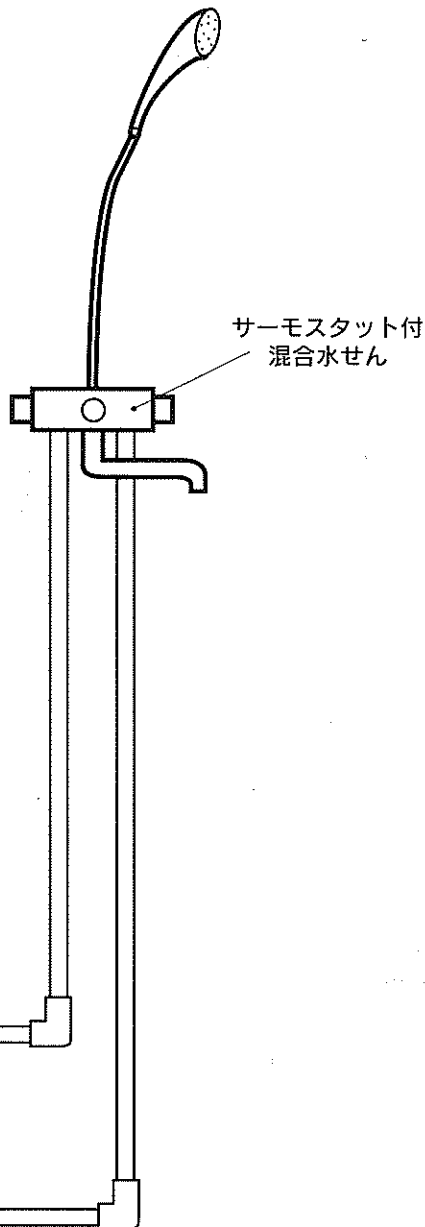
非常用取水コック（飲用はできません）

非常の際にはこのコックよりタンクの水を取り出して非常用水として利用できます。利用のしかたは本体ラベルをご覧ください。

標準引込み配線



水せんは湯水混合水せんを使用することをお勧めします。
特に浴室ではサーモスタット付混合水せん等の使用をお勧めします。



安全上のご注意ラベルについて

特に重要と考えられる事項について『安全上のご注意ラベル』に記載してあります。

商品コード: 302 17 081

警告	
	この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前に付属の「取扱説明書」をよくお読みになり、十分に理解してください。
	感電のおそれあり ・前面カバーは開けないこと。 ・電源ボックスカバーは閉めておくこと。 ・アース工事がされているか、確認すること。 ・漏電遮断器の動作確認すること。
	発火のおそれあり ・温水器の近くにガス類や引火物を置かないこと。
	やけどのおそれあり ・お湯を使う前に湯温を確認すること。 ・給湯時は給湯せん本体に手を触れないこと。 ・排水時はお湯に手を触れないこと。 ・湯し弁は湯温に手を触れないこと。 ・タンクが満水にされない状態で通電をしないこと。
	感電・火災のおそれあり ・異常時（こけ臭いなど）は漏電遮断器のレバーを下げて電通を「切」にして、お買いあげの電気店またはメーカー指定の取扱店に連絡してください。
お客様にお読み	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 給湯せんから水が出ることを確認してから漏電遮断器を「入」にしてください。 ・水を入れないで通電すると故障の原因になります。 2. 湯し弁の湯し管の出口は、絶対にふさがないようにしてください。 ・タンクが満水にされると水漏れや故障の原因になります。 3. タンクの排水を年に2～3回、行ってください。 ・水アカや腐食物がたまり水が汚れる原因になります。 4. お湯の出が悪くなったときは、お買いあげの電気店に連絡して、減圧弁のストレーナーの掃除を行ってください。 ・水アカや腐食物がたまり、お湯が出なくなる原因になります。 5. 1か月以上使用しないときは電源を「切」にしてタンクの水はすべて排水してください。 ・水質が悪化することがあります。 6. そのまま使用しないでください。長期間の不利用によってタンク内に水アカがたまり、配管材料の劣化等によって水質が変わることがあります。定期的なメンテナンス（お買いあげの電気店、メーカー、ヤマトなど）を依頼してください。 	
販売店・工事店の方にお読み	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 湯水せんから出ているパイプが腐らないようにダブルレシチにして、配管してください。 2. 湯し管の接続部から水漏れする原因になります。 3. 配管材料は耐食性の高い材料を使ってください。 ・湯し管は排水・排水工事をしてください。 ・長年ご使用になり、水漏れしたとき修理を依頼せたりほかの場所に水が漏れ出す原因になります。 4. 配管材料は耐食性の高い材料を使ってください。 ・湯し管は排水・排水工事をしてください。 ・湯し管は排水・排水工事をしてください。 ・湯し管は排水・排水工事をしてください。 	

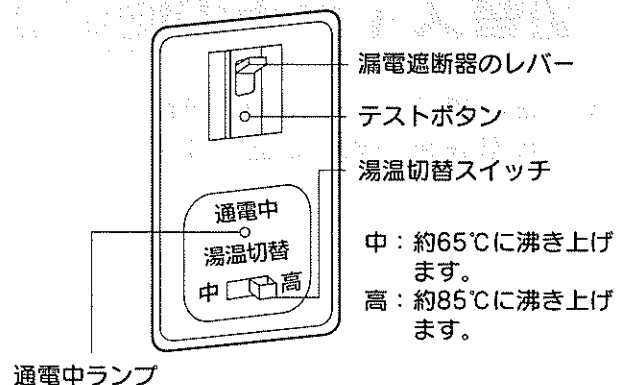
39137LC6020 組込形

各部のなまえとはたらき

お願い

本体のラベルが剥がれてなくなったり、文字が消えて読めなくなった場合には、ラベルを販売店から、部品コードを指定して購入し、元の位置に貼ってください。

電源ボックスカバー内部



通電中ランプ

漏電遮断器のレバー
テストボタン
湯温切替スイッチ

中：約65℃に沸き上げます。
高：約85℃に沸き上げます。

使いかた

警告

温水器の近くにガス類や引火物を置かないこと

発火の原因になります。

タンクが満水になっていることを確認してから通電すること

- ・満水にしないで通電すると負圧によりタンクが破損し、やけどのおそれや水漏れの原因になります。
- ・水を入れないで通電すると故障の原因となります。

注意

そのまま飲用しないこと

長期間のご使用によってタンク内に水あかがたまったり、配管材料の劣化等によって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度、ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。

- ・必ず水質基準に適合した水を使用してください。
 - ・熱いお湯が出てくるまでの水(配管内にたまっている水)は、雑用水としてお使いください。
- 固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用には使用せずに、直ちに点検の依頼を行ってください。

給水のしかた

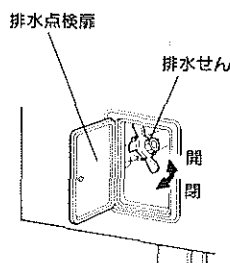
最初は、タンクや配管内のゴミ・油などを洗い流すため給水したら一度、全部排水し、再び給水してください。

1 最初の給水のしかた

- (1)排水点検扉を開き、排水せんを閉じます。
 - (2)給湯せん、専用止水せんを開きます。
- 約10～20分で給湯せんから水が出てきます。
これでタンクは満水になります。

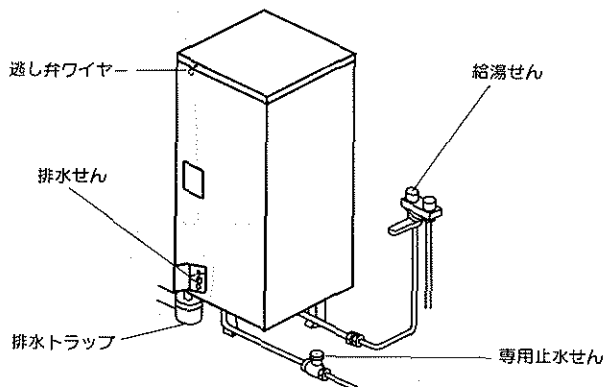
2 排水のしかた

- (1)専用止水せんを閉じます。
- (2)給湯せん開きます。
- (3)排水せんを開きます。
- (4)約30～40分で水が抜けます。(排水できないときは逃し弁ワイヤーをひいてください。)



3 再給水のしかた

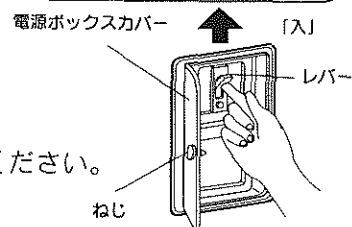
- (1)排水せんを閉じます。
- (2)専用止水せんを開きます。
- (3)給湯せんから水が出てきたら給湯せんを閉じます。



通電のしかた

通電は必ずタンクを満水にしてから行ってください。

- (1)電源ボックスカバーのねじをゆるめカバーをあげます。
- (2)漏電遮断器のレバーを「入」にしてください。
- (3)湯温調節をします。操作終了後、電源ボックスカバーを閉じ、ねじを確実に締めてください。



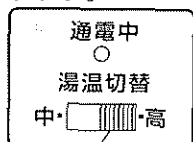
切替スイッチの使いかた

●湯温切替スイッチを切り替えて、沸き上げる湯温を2段階に選べます。

ご家庭の使用量によって切り替えてください。工場出荷時は「高」にセットしてあります。

湯温のめやす

- 「中」……約65℃
- 「高」……約85℃



切替スイッチ

●スイッチの切り替え

電源ボックスカバー内の湯温切替スイッチを「中」または「高」側に切り替えてください。

*スイッチの切り替えはいつでも行えますが、夜間の通電時間帯に「中」から「高」に切り替えたときは、約85℃まで沸き上がらないことがあります。

切替スイッチのツマミを「中」「高」の中間位置に合わせないでください。故障の原因になります。

非常用水の取りかた

- 非常用取水コックは、万一の災害による断水時にタンクのお湯（水）を生活用水として利用できるようにしたものです。
- 非常時以外の使用はしないでください。

警告

非常用水は、熱湯が出るおそれがあります。やけどに注意すること

最初は水がでてきますが、熱湯がでてくる場合があります。



手をふれない

非常用水の採水時はバルブ本体に手を触れないこと

本体が熱くなりやけどをすることがあります。



手をふれない

注意

飲用しないこと

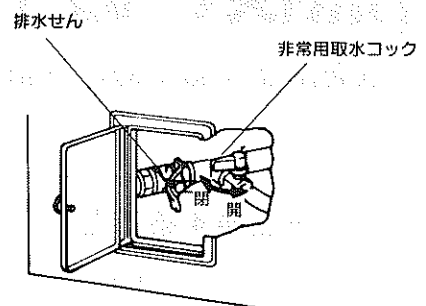
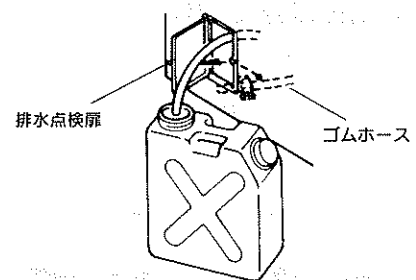
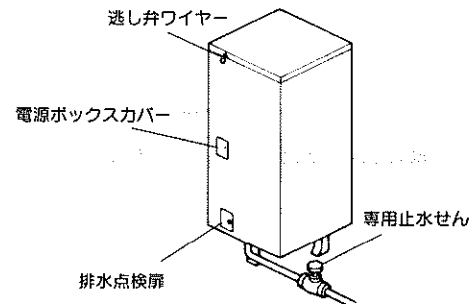
水質が変化した場合、下痢、腹痛など体をこわすことがあります。



飲用禁止

1. 非常用水の取りかた

- (1)電源ボックスカバーを開き漏電遮断器を「切」にします。
- (2)専用止水せんを開じます。
- (3)排水点検扉を開き、内部のゴムホースを引き出しポリタンク等に導きます。
- (4)非常用取水コックを「開」にします。（排水せんは開かないでください。）
- (5)逃し弁ワイヤーを引きます。
- (6)必要量の非常用水が取れたら逃し弁ワイヤーを離し、非常用取水コックを「閉」にします。
- (7)ゴムホースを元に戻し、先ほど開いた扉をすべて閉じます。



2. 通常運転への戻しかた

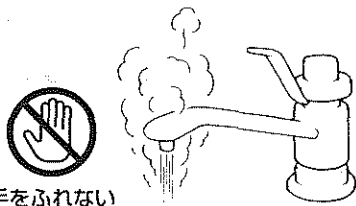
- (1)専用止水せんを開きます。
- (2)給水せんを開き、3分以上連続して給湯せんから水が出ようになったら閉めます。
(給湯せんから水が出ても、配管内に空気がたまっている場合がありますので、必ず連続して水が出るようになるまで給水を続けてください。)
- (3)漏電遮断器を「入」にします。

使用上の注意

警告

給湯・排水時は熱湯が出るおそれがあります。やけどに注意すること

給湯せんを開いた直後は水がでますが、すぐに熱湯に変わります。



給湯時は給湯せん本体に手を触れないことやけどをすることがあります。

朝、最初に給湯せんを開くときに蒸気が吹き出ることがあります。給湯せんは少しずつ開いて下さい。



お湯の上手な使いかた

一日に使用できるお湯の量は限られています。お湯は大切にお使いください。

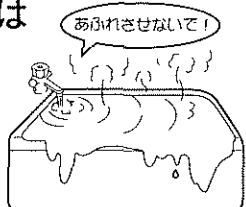
●お湯は容器に受けて使ってください

流し洗いは、お湯不足の原因になります。



●お風呂に給湯するときは

お湯をあふれさせないようにしてください。



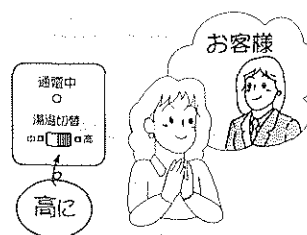
●お風呂の差し湯は

お湯の量が多いときは、あふれないように、お湯を少し減らしてから足します。



●来客があるときは

前日に温度切替スイッチを「高」に切り替えておきます。「中」のとき



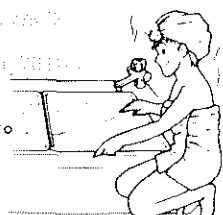
●入浴時間は

夜間の通電時間前にすませるようにしてください。通電時間中にお湯をたくさん使用すると、翌日に湯量が不足します。



●お風呂のふたは

浴槽には冷めやすいものもあります。入浴後はふたをしてください。



点検、お手入れのしかた

事故を防止するために下記の点検を必ず行ってください。

注意

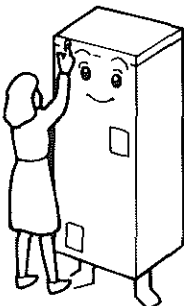
逃し弁を点検すること

配管漏れによりやけどをすることがあります。

高い所に設置されている場合は、脚立などを使用して安全に行ってください。



動作点検

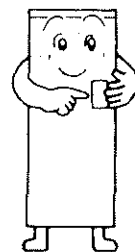


電源ボックスカバーは閉じておくこと

ショート・感電の原因になります。ぬれた手でさわらないでください。点検・操作の後には必ずねじを締めてください。



確実に閉じる



点 検

1 漏電遮断器の動作確認を

⚠ 警告

漏電遮断器の動作を確認すること

漏電遮断器が故障のまま使用すると、漏電のとき感電の原因になります。

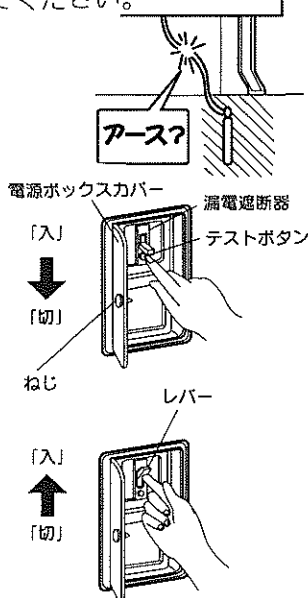
漏電遮断器は、万一漏電したとき自動的に電気を切るための安全装置です。

- 年に2～3回は、漏電遮断器の動作確認を通電時間内に、つぎのように確認してください。

- (1)アース線が途中で切れていないかどうか確認してください。

- (2)電源ボックスカバーをあけて、テストボタンを押してください。漏電遮断器のレバーが「切」(OFF)になり、通電中ランプが消えれば正常です。

- (3)テストのあとは、必ずレバーを「入」(ON)にもどし、電源ボックスカバーを閉じて確実にねじを締めてください。



2 逃し弁の動作確認を

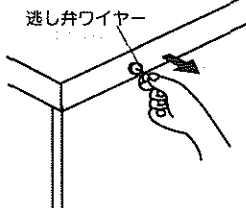
⚠ 警告

逃し弁点検時は、排水管に手を触れないこと

やけどをすることがあります。

年に2～3回は、逃し弁ワイヤーを2～3回引いて動作をチェックしてください。

- ワイヤーを引いたとき排水し、戻したとき排水が止まれば正常です。(排水が確認できないときは水の音で排水されたことを確認してください)



- 逃し弁の弁部に水アカの付着や、異物のカミ込みがあると、逃し管より常にお湯が流れ出て、湯量不足の原因となります。
- 逃し弁は水からお湯になるときの膨張分を排水し、タンクを守る安全装置です。逃し弁が正常に動作しないと、タンクが変形し水漏れや故障の原因になります。

3 寒冷地では凍結防止を

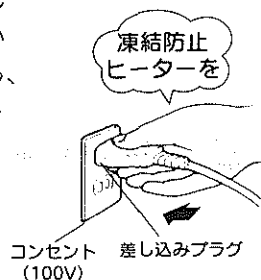
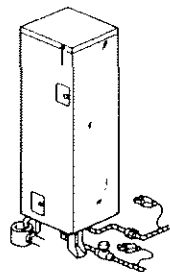
⚠ 注意

凍結防止対策を確認すること

配管が破損してやけどをすることがあります。

- 気温がマイナス10℃以下になると、保温工事をしていても凍結のおそれがありますので工事説明書に従い、配管工事をしてください。

- 水が凍るような時期になりましたら、図の凍結防止ヒーターの差し込みプラグを、100ボルトのコンセントに差し込んでください。また、凍結の心配のない時期になりましたら、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。



4 水漏れの点検を

⚠ 注意

水漏れを点検のこと

特に集合住宅では、漏水が階下へ被害を与えます。日常確認してください。

- 電気温水器を設置した床面に水が漏れていないか確認してください。



- 減圧弁・逃し弁は消耗部品です。定期的に交換が必要です。交換時期は水質によって異なりますので販売店にお尋ねください。

使いかた

点検、お手入れのしかた

お手入れのしかた

1 ストレーナーの掃除

●販売店に依頼して掃除を行ってください。

湯および水の出が悪くなったときは、減圧弁のストレーナーの掃除が必要です。販売店につぎの方法で掃除を依頼して行ってください。

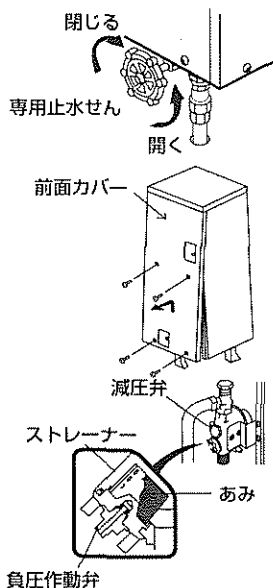
(1)電気温水器用の配線用遮断器を「切」(OFF)にします。

(2)専用止水せんを閉じます。

(3)前面カバーのねじ4本をはずし、前面カバーを取りはずします。

(4)減圧弁のストレーナーをはずし、あみを掃除します。(水を流しながらブラシ等で良く洗います)

(5)ストレーナーを組み付け、専用止水せんを開きます。水漏れがないことを確認してから前面カバーを取り付けてください。



2 お使いにならないとき

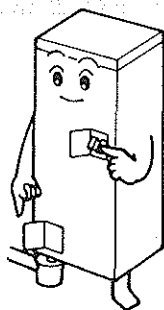
●長期間お使いにならないとき



注意

1 か月以上使用しないときは漏電遮断器を「切」にしてタンクの排水をすること水質が変化することがあります。

- ・排水のしかたは7ページをご覧ください。
- ・再びご使用になるときは、7ページの給水のしかたによりタンクが満水になったことを確かめてから、通電準備をしてください。
- ・翌日、ご使用になるときは、給湯せんから最初配管内の空気と蒸気がでますので、やけどに注意してください。



3 タンク内の掃除を



注意

タンクの熱湯排水は直接しないことやけどをすることがあります。水で薄めてから流してください。

定期点検のおすすめ

電気温水器を長期間安心してお使いいただくために、専門の技術者がお客様に代わって細かく定期点検、部品の交換をいたします。詳しくはお買いあげの販売店にお問い合わせください。

使用しているうちに水あかや沈殿物がタンクの底にたまりまます。きれいなお湯をお使いいただくために、必ず年に2～3回はつぎの手順で排水口から水あかなどを出してください。

タンク内のお湯を排水する場合には排水管が熱で変形しないように、タンク内のお湯を使いきった後、水になってから排水してください。

(1)漏電遮断器のレバーを「切」にします。(図1)

(2)専用止水せんを閉じます。(図2)

(3)排水点検扉をあけ、排水せんを開きます。(図3)

(4)逃し弁ワイヤーを約2分間引きまます。(図4)

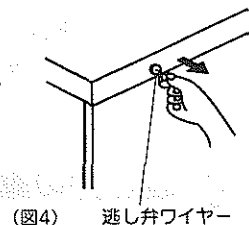
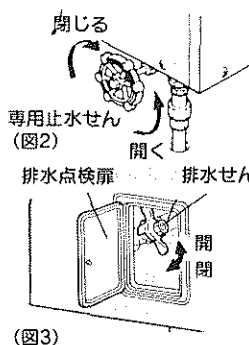
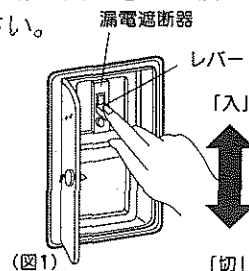
(5)よごれた水がきれいな水にかわったら排水せんを閉じ、排水点検扉を閉めます。(図3)

※お湯が出てくることがありますので、ご注意ください。

(6)排水が終了したら専用止水せんを開きます。(図2)

(7)排水口に水が出てくるまで逃し弁ワイヤーを引きます。(見えないときは音で確認してください) (図4)

(8)漏電遮断器のレバーを「入」にします。



4 断水・近くで水道工事が行われるとき

●工事が行われる前に専用止水せんを閉じてください。

濁った水が減圧弁のストレーナーに目詰まりし湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。

●解除されたら専用止水せんおよび給水せんを開いて、水がきれいになったのを確かめてから電気温水器を使用してください。

5 過圧防止弁について

●過圧防止弁排水ホースより水(または湯)が漏れている場合は、配管システムまたは温水器に異常があります。漏電遮断器のレバーをさげて電源を「切」にし、専用止水せんを閉じてお使いになるのをやめてください。お買いあげの販売店に連絡をして修理を受けてください。



このようなときには

修理を依頼される前につぎのことを点検してください。

症 状	点検するところ	直 し か た
お湯が出ない お湯の出が悪い	●専用止水せんは開いていますか。	●閉じていたら、開いてください。
	●断水ではありませんか。	●水道局へ問い合わせ、断水が終わるまで待ってください。
	●減圧弁のストレーナーがつまっていますか。	●11ページのストレーナーの掃除を販売店に依頼してください。
	●配管部が凍結していませんか。	●お買い上げの販売店にご相談ください。
お湯が沸かない	●配線用遮断器または、漏電遮断器が「切」になっていませんか。	●「切」になっていたら、「入」にしてください。 ※2度、3度と「切」になる場合には販売店にご相談ください。
お湯がぬるい お湯がたりない	●湯温調節の位置は適当ですか。	●「中」の場合には「高」にしてください。
	●深夜電力の通電中にお湯をたくさん使いませんでしたか。	●翌日までお待ちください。 ※湯温調節「高」のとき、残湯量がなく、水温が10℃未満のときは85℃まで沸き上がりません。
	●いつもにくらべてお湯を使いすぎていませんか。	
	●タンクへの給水温度が10℃未満ではありませんか。	
よごれたお湯がでる	●昼間逃し弁から排水口にお湯が流れていませんか。	●10ページの逃し弁の動作確認をしてください。 ●お湯が止まらないときは、逃し弁を交換してください。
	●近くで断水や水道工事はありませんでしたか。	●水がきれいになったのを確認してから電気温水器をお使いください。
	●タンク内の掃除をしていますか。	●11ページのタンク内の掃除を行ってください。

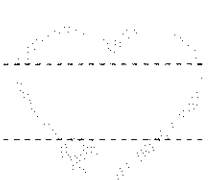
仕様

形 名		HPL-N371RSG HPL-N371RSG-B		HPL-N461RSG HPL-N461RSG-B	
		現地配管施工形 防雨形			
		節電タイプ			
項 目		適用料金制度			
		深夜電力			
タンク容量		370L		460L	
定 格		単相 200V 4.4kW		単相 200V 5.4kW	
沸上がり湯温		約65/85℃			
質量(満水時)		約64(434)kg		約72(532)kg	
外 形 寸 法 (mm)	幅	700mm		700mm	
	奥行き	700mm		800mm	
	高 さ	1800mm		1800mm	
安 全 装 置		自動温度調節器・温度過昇防止器・漏電遮断器・過圧防止弁			
配管内蔵部品		排水せん・非常用取水コック			
配 管 口 径		給湯・排水：R3/4・給水：Rc3/4			
用 途		セントラル給湯 3～5人家族用		セントラル給湯 4～6人家族用	

点検、お手入れのしかた

仕様の
ようなときは





保証とアフターサービス (必ずお読み下さい)

保証書 (別添)

- この東芝電気温水器には、「保証書」を別途添付しております。
- 保証書は、必ず「お買いあげ日、販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- この東芝電気温水器の保証期間は、お買いあげいただいた日から2年です。(ただし、タンク内部のヒーターは3年、タンクは5年です。)
- その他、詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- 弊社は、電気温水器の補修用性能部品の製造打ち切り後、10年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買いあげの販売店、東芝家電ご相談センターまたは東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。
- ご転居あるいは贈答品などで保証書に記入してあるお買いあげの販売店に修理をご依頼できない場合には、東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

修理を依頼されるときは (出張修理)

- ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、漏電遮断器を「切 (OFF)」にし、専用止水せんを閉じてからお買いあげの販売店にご相談ください。修理は専門の技術が必要です。

保証期間中は

- 修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規程に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

- 修理すれば使用できる場合にはご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品 名	電 気 温 水 器	
形 名	H P L - □□□□□□□□	
お買い上げ日	年 月 日	
故障の状況	できるだけ具体的に	
ご 住 所	付近の目印等も併せてお知らせください	
お 名 前	電 話 番 号	訪 問 希 望 日
便 利 メ モ	お買いあげ店名	
	電 話 番 号	
お買いあげ店名を記入しておくとう便利です		

修理料金のしくみ

修理代は技術料・部品代・出張料から構成されています。

技 術 料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部 品 代	修理に使用した部品代です。
出 張 料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。



愛情点検

長年ご使用の電気温水器の点検をぜひ！

このような
症状は
ありませんか。

- お湯の出が悪い。
- お湯が早くなる。
- 逃し弁の逃し管から昼間、常にお湯が流れている。
- 設置場所が常にぬれている。
- 時々、漏電遮断器が働く。
- その他の異常、故障がある。

ご使用
中 止

故障や事故防止のため、漏電遮断器を「切」にし、専用止水せんを閉じてから、必ずお買いあげの販売店に点検修理 (有料) をご相談ください。

東芝機器株式会社

電化給湯システム営業部
〒110-0015 東京都台東区東上野5-24-8
(住友不動産上野ビル6号館11F)
TEL (03)5806-9043

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	

お客様へ…… おはえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入されると便利です。

(機 ☆ T H C E (H))